



國家圖書館 編

東亞同文書院

中國調查手稿叢刊

195



國家圖書館出版社



國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

195

國家圖書館出版社

第一九五冊目錄

昭和十八年（一九四三）調查報告（第四十期生）

（丹陽）文化宣傳、訓練、出版物

（丹陽）文化宣傳、訓練、出版物 丸尾忍

吳縣方言調查

吳縣方言調查 藤田信弘

吳縣史地

吳縣史地 寺澤衛

吳縣縣政

吳縣縣政 林勲

吳縣に於ける蒐荷及び配給調査報告大要(前篇)

吳縣的物産集散及配給調査報告概要(前篇) 松本和夫 二六九

吳縣教育、宗教調査報告

吳縣教育、宗教調査報告 橋本富士雄 三四五

吳縣楓橋鎮内諸部落の社會的考察

吳縣楓橋鎮内各部落的社會考察 下隱登喜吉 三九五

吳縣ニ於ケル政治指導

吳縣的政治指導 加藤和 四四一

吳縣金融調査報告

吳縣金融調査報告 北村求 四九五

大根行訓受報書

文化

宣傳

訓練

出版物

丹陽班

高三甲組

丸尾

忍

私	の	調	査	範	圍	に	る	訓	練	宣	傳	出	版	物	に	関	し	以	下	順
を	追	つ	て	累	述	す	る	事	と	す	る	の	元	来	丹	陽	縣	は	京	滬
線	の	各	縣	城	中	最	も	僻	冷	の	地	に	あ	り	民	衆	の	智	能	方
て	も	又	こ	の	他	あ	ら	ゆ	る	方	面	に	於	て	そ	の	文	化	程	度
め	て	低	い	も	の	に	あ	る	事	も	知	ら	ね	ば	な	ら	ね			
以	下	は	の	調	査	見	聞	せ	る	所	と	記	述	す	る	に	當	り	目	下
合	作	し	て	専	ら	清	郷	工	作	に	従	事	中	に	あ	る	を	以	て	す
郷	工	作	を	中	心	と	し	て	記	す	る	事	と	し	先	づ	縣	長	楊	誠
の	本	縣	清	郷	工	作	同	志	信	條	と	左	に	記	し	縣	長	の	抱	く
那	現	を	明	に	し	よう														

本縣清鄉工作同志信條

一、清鄉就是革命，革命就是清鄉

二、揚棄個人英雄主義，確立國家全體主義

三、以服務為目的，不以奪取為目的

四、一個黨，一個主義，一個領袖

五、工作至上，民族至上，國家至上

六、中日一致，軍政一致，官民一致

七、共生活，共甘苦，共事業，共前途

八、從消極的負責任，到積極的多創造

九、學習與工作打成一片

十、命令澈底

紀律嚴明

十一
任勞任怨

在所不辭

十二、
創造優良作風

樹立廉潔政治

中華民國三十三年三月

丹陽特別區公署署長

楊
討

一
宣
傳

1. 清鄉工作開始前，
一、於什子宣傳概況

本年一月一日國民政府は一月九日對米英宣戰布告を

た	一	英	撃	減	東	画	解	放	の	征	戦	に	敢	然	鉤	と	つ	て	起
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ち
上
つ
に
が
丹
陽
縣
に
於
て
は
友
邦
日
本
と
の
同
生
共

死	を	認	識	せ	し	む	る	為	民	衆	大	會	を	始	め	各	種	行	事	を	實
施	し	以	て	國	府	參	戰	の	真	意	義	を	理	解	せ	し	む	る	と	共	に
大	東	亞	戰	争	完	遂	の	決	意	を	起	さ	し	め	た	が	國	府	參	戰	
宣	傳	に	伴	ひ	大	東	亞	戰	即	新	中	國	建	設	な	る	事	を	認	識	せ
る	は	ほ	人	の	一	部	の	者	に	過	ぶ	す	全	般	に	於	て	は	尚	無	関
心	の	狀	態	に	あ	つ	た														
二	月	に	先	月	に	引	續	き	國	民	政	府	の	大	東	亞	戰	争	參	加	に
伴	ひ	米	英	荷	擊	滅	宣	傳	を	現	地	鄉	鎮	長	會	議	席	上	及	民	衆
大	會	街	頭	宣	傳	施	療	う	け	才	放	送	等	を	以	て	行	つ	た		
が	一	部	有	識	階	級	を	除	き	一	般	に	尚	無	関	心	の	狀	態	に	あ

つた	尚此の月に至り	縣職員の更迭や	鄉鎮に於
ける	竹の蕙集等に依り一般に清鄉工作開始を豫知し		
一部に於ては蘇州清鄉地区の状況と比較して歡呼			
を洩らすものもあつた	一部の通敵行為者等は		
生活	親戚探訪等を口實に都市等に隱身の爲移動す		
るもの	は是受けられた		
三月	國民政府の大東亞戰爭參戰と相俟つて	本	
縣に於ては清鄉工作の開始せらるゝに伴ひ	中國國		
民黨を始め	政治工作團	特別区公署等主体となり	
各種民衆大會	現地巡回宣傳等も間断なく實施し		

宣傳概況表の如く

表一

名稱	日期	地點	區單位	宣傳方式	大會人數	工作效果
前奏宣傳	三月一日 三月七日	鎮江丹陽 揚中武進 無錫	民衆大會 張貼標語 座談會 家庭訪問等	各地統計 共五千人	指示民衆 對清鄉有所 認識	
總理逝 世紀念	三月十日	各分團駐地	1. 民衆大會 2. 張貼醒目標語 3. 散發告民衆書	1. 分團駐地 2. 各駐地民衆 共五千人	情緒興奮 誓棄國仇 偉大精神為 清鄉而努力	
流動宣傳	三月 中旬	各分團駐地 五個分團	同前奏宣傳方式	共三萬餘人	民衆擁護清鄉	
還鄉復 業運動	三月廿日 三月廿七日	揚中光復鄉 丹陽 延陵	1. 張貼標語 2. 流七家鄉談話 3. 座談會 4. 保甲座談會	共三萬餘人	流亡民衆日 益增加未回	

東亞同文書院大學學生調查大旅行指導室

No. 5

友邦文選
學堂租界

東亞同文書院大學學生調查大旅行指導室

日期	名目	反	工作內容	需工時	工作	方式	工作人具	地	址
三月一	鎮江城區影院二所			經常	製成幻燈片分發				
日	利用銀幕進行各種宣傳			經常	放映二部				
三月十	為求鎮江地區各項工作得法				張貼標語散發			大街	通衢
十日	順利進展會同特派員宣理			四日	傳單街頭演講			戲院	茶莊
	清鄉宣傳隊二隊				家長訪問			學校	校
三月十	參加主任就職典禮並加以			全日	張貼大型標語			全	前
三月	擁護清鄉宣傳			全日	散發各種傳單				
三月十	實施黨化教育			半日	演講			在	立
七月					演講			踐	小

No. 中二表係

日期	名目及工作內容	需時	工作形式	工作人員	地址
三月廿日	南京日本軍宣伝隊來鎮工作	三日	隨同協助各		鎮江丹陽
三月廿日	並有宣伝部新國民劇團分赴各鄉巡	三日	演工作		各區公所所在地
三月	國府遷都三週年紀念		事前宣伝		文通要道
三月廿日	擁護清鄉與友邦交還租界人民衆大會游藝大會	三日	公演清鄉話劇 明星又國旗		影院藥店 茶樓酒店 大舞台
	清鄉工作之開始に伴ひ		一般民衆は負担の過重を豫		
	想し一部に動搖		移動する者を見受けられ		

東亞同文書院大學學生調査大旅行指導室

各機關の熱烈にして適切なる現地宣傳及諸工作の實
 施に依り清郷の認識を深め、地区内の有志士紳を以
 て清郷工作後援會の設立を見るまでに至つた。
 四月……清郷工作の眞意義を縣下民衆に徹底せしめ、
 以て清郷の早急完成、延いては新中國建設、大東
 亞戦争の完遂を期せむとし、特別区公署に於ては、
 らゆる宣傳機關を通じて各種宣傳行事をなすと共に、
 特に特區署長の現地諸工作と相俟つての宣傳を行ひ、
 管下各學校の教師、生徒を主体とする清郷流動宣
 傳隊を組織せしめ、毎週月曜日毎に主要郷鎮に於て